

高橋先生は、日本気象学会には実に連続約50年間にわたって常任理事、監事、評議員を務められた。とくに、戦後の混乱期における学会の再建には懸命に努力された。日本気象学会は「気象の普及について貢献した」功績に対し藤原賞(1969)を授与し、また、名誉会員にお

迎えた。他に勲二等瑞宝章や運輸省交通文化賞など高い評価と尊敬を集められた。葬儀には千名近い方々が最後のお別れに参集し、心から先生の御霊の安からんことを祈りながら御功績を静かに偲んだ。

(日本気象協会 朝倉 正)

1990年度卒業論文

法政大学文学部地球学科

* 修士論文

佐瀬 淳一「九州地方における台風時の地形性レイバンドについて」

* 学士論文

秋山 大「長野県・古海盆域における冷気湖の形成過程」

井野口雅彦「関東縁辺の山地の谷口における山谷風に関する考察」

菊地 順子「岩手県藪川地域の低温に関する気象学的考察」

日下部 聡「八丈島における卓越風と地形の影響からみた偏形樹の形成」

塩谷 恭正「微雨の発現と大気汚染物質濃度および相対湿度との対応に関する気象学的考察」

高荷 廣興「都市規模と都市気温および湿度に関する一考察」

仲 寛子「九州地方における春季の南寄りの強風につ

いて」

中西 香「九州地方の降雪に関する気候学的考察」

西村 尚史「公園緑地を敷地中央に有する住宅団地の気温分布について」

濱中 謙吾「低気圧移動路別にみた瀬戸内海地方の降水量分布について」

藤田紀代美「東京における海風と濃度分布との関係について」

八ツ繁明子「上信地方における熱雷の発生と移動について」

山本 令子「兵庫県南部に発生する集中豪雨の特性について」

吉田 裕幸「群馬県における冬季季節風の風速分布に関する研究」

吉野 徳康「気圧配置型別にみたひと雨降水のpHと導電率」

渡部健太郎「南極周辺の低気圧とオゾンホール形成について」

東京大学理学部地理学教室

* 学士論文

松山 洋「アマゾンにおける降水量分布の特徴とそのメカニズム」